

おかげさまで開館20周年 長崎歴史文化博物館

長崎歴史文化博物館は2005年11月3日に開館してから今年で20周年を迎えます。

そこで、2025年4月1日から2026年3月31日までを開館20周年の記念イヤーと位置付け
様々な記念企画をご用意しています。

ご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

開館20周年記念特別展 会場：3階企画展示室（有料）

つながる琳派スピリット かみさかせつか 神坂雪佳 [会期] 2025年4月19日①～6月1日①

神坂雪佳（1866～1942）。彼は近代京都において図案家、画家として染織、陶芸、漆芸から室内装飾、造園と幅広く活躍しました。本展では、雪佳が手本とした江戸時代の琳派の美の潮流をたどり、暮らしを彩るデザインを生み出した近代琳派・神坂雪佳の多彩な世界をご紹介します。雪佳デザインの長崎くんちの傘鉾垂（築町・綴錦織帝菊）も必見です。

妖怪・おぼけ浮世絵展 [会期] 2025年7月5日①～8月24日①

幕末期に巻き起ったおぼけブームの影響は、浮世絵にも及びました。現世を恨んで現れる幽霊、災いをもたらす怨霊、人をたぶらかす猫や狸、狐などの獣たち。おぼけ絵は江戸時代の人々の娯楽であり、遊びの世界でもあったことでしょう。奇々怪々なおぼけとの出会いをお楽しみください。

ポケモン×工芸展ー美とわざの大発見 [会期] 2025年9月12日①～12月7日①

2023年の国立工芸館を皮切りに、アメリカでの公開を経て、日本各地を巡回する話題の展覧会がついに九州に初上陸。人間国宝から注目の若手まで、現代日本の工芸を代表する20名のアーティストが、多種多様な素材と技法でポケモンに挑んで生まれた珠玉の作品約80点を紹介します。

日本が誇る工芸とポケモンの魅力を満喫してください。

長崎遊学 [会期] 2026年1月17日①～3月4日①

海外交流が厳しく制限された江戸時代、長崎は異国文化に直接接触れる憧れの地でした。長崎を訪れた遊学者たちによって異国文化は各地へ伝えられ、日本の文化や社会に大きな影響を与えていきます。「長崎遊学」を通じて、江戸時代の「知」のネットワークをご紹介します。

美術館×博物館 開館20周年コラボ企画

当館より一足早く4月に20周年を迎える長崎県美術館とのコラボレーションイベントを開催予定です。

①美術館・博物館の観覧セット券販売

両館の常設展を観覧できるセット券を、特典が付いた特別価格で販売します。(なくなり次第終了)

販売価格：通常大人700円 → 20周年記念価格 500円

※4月24日(木)より販売予定

特典：チケット提示で、長崎県美術館ショップ・カフェ、
当館ショップ・レストランの利用・購入が5%引き
※各1回ずつの利用

②スタンプラリー

長崎県美術館と長崎歴史文化博物館に記念スタンプを設置。

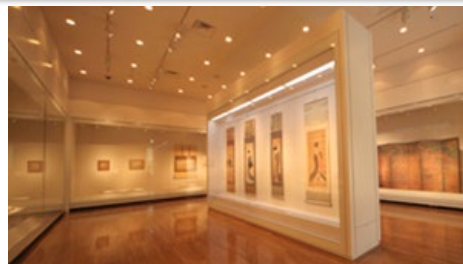
③広報連携

・美術館・博物館共同チラシの配布。

特集展示ラインナップ 2階特集展示室(常設展示室内)

特集展示は、ヨーロッパや中国の影響を受けた絵画資料や貴重な歴史資料など、当館収蔵の資料を中心に、様々なテーマを取り扱うミニ展示です。

観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます
(大人630円、小中高生310円)
長崎県内の小中学生、長崎れきぶん友の会、
キャンパスメンバーズは無料)



江戸時代の五島列島

2025年4月23日[水]～6月22日[日]

せんすのある展覧会

2025年7月1日[火]～8月31日[日]

くんち三九一年展

2025年9月3日[水]～10月13日[月祝]

れきぶんコレクション20年

2025年10月22日[水]～12月14日[日]

長崎学のあゆみ

2025年12月18日[木]～2026年2月15日[日]

長崎の歴史と文化

2026年2月21日[土]～4月19日[日]

そのほか

公式ホームページ、検索サイトのリニューアル、20周年記念オリジナルグッズの制作・販売を予定しています。(2025年2月下旬)

本件に関するお問合せ

長崎歴史文化博物館 広報・企画グループ

松尾・大石・オディーノ・早田